

大阪損保革新懇ニュース

大阪損保革新懇事務局

大阪市中央区道修町3-3-10

日宝道修町ビル3F

06-6232-1095

大阪に
カジノは

万博に紛れてカジノ? 講演会に44名参加

2月10日（金）アイドルの部屋で『大阪にカジノはいらない』と題し、講演会を開催し44名が参加しました。桜田照雄（阪南大学流通学部教授）さんが、大阪府・大阪市が大阪湾の夢洲にカジノと万博をセットして誘致しようとする施策について、賭博はいらない！夢洲はあぶない！と本質を暴き徹底した批判を行いました。刑法が禁ずる賭博を合法化するカジノ法案は、「維新」が首相官邸に働きかけ年末の臨時国会会期末に強行可決しました。講演終了後、

講師：桜田照雄さん（阪南大学流通学部教授）

講演要旨

一番最初に皆さん方にわかってほしいのは、カジノとパチンコ・競馬との決定的な違いなんです。パチンコは風俗営業法の規定がありまして、1分間に100発以上打つパチンコはダメなんですね。1発4円ですから、1分間に400円、1時間でいうと24,000円、11時間営業すると260,000円になります。260,000円以上負けないんですね。

競馬は1日12レースしかありません。ところがカジノはどうか。ルーレットでも一勝負3分かかりませんよ。ブラックジャックとかバカラになってくると一勝負1分からへんのですね。負ける時のテンポの速さが決定的に違うということをまず覚えてください。

メトロというカジノ業者が1兆円投資すると言いました。そうすると松井知事がラジオ番組で、いまどき1兆円も投資してくれる業者どこにおるねんという話をしました。1兆円という金額を聞いて、目の色が変わったのかと思っています。すべからく金、金、金というのが、松井知事が公言してはばからなかった話です。



ではカジノの運営業者が儲けるということは、その儲けはどつから出てくんねんと言うたら、みんな負けた人の金なんですね。

次に、儲けるにはどんだけい



講師の桜田照雄さん

なんですが、1年間に4兆7千億円負けがないと、この投資は回収できへんわけです。4兆7千億円すさまじいですね。中央競馬、2兆5千億ですからね。分かりやすく言いますと、カジノは1日24時間365日連続営業です。8760時間の営業時間がありますので、1時間5億4千万となります。1時間あたりなんと5億4千万負ける客を作らないと、この1兆円という投資は回収できないのです。儲けるために投資するわから、1時間あたり5億4千万負ける客を必ず産みだしますね。こういう商売をやるぞというのが実はカジノ万博なんですね。

維新の会がカジノ万博で6兆円の経済効果があるという宣伝を、これからどんどんやっていきます。ウェルネスリゾートと銘打って、夢洲で万博すると言うんですけど、これ関西経済同友会のプランなんですね。ウェルネスというのは健康ということです。このプランを出した時にですね、賭博が認知症の予防になると、こういうこと言いだしましてね。それで健康万博なんだどこじつてるんですね。

<2017年アピール>

市民と野党の共闘でアベ政治を終わらせよう!

府民と市民の力で維新政治を退陣させよう!

結成20周年から次の10年を展望して活動しよう!

アメリカではトランプ大統領が誕生、「アメリカ第一」を唱えました。安倍総理は「日米同盟第一」と呼応しました。初の日米首脳会議では軍事・安全保障面で日米同盟強化、日本の役割拡大を合意、経済面でも日米経済対話の設置を合意しました。今後、対日要求はますます高まることが予測されます。安倍内閣は国内では戦争法実行・憲法改悪・沖縄新基地建設・原発再稼働・南スーダン派兵・年金カット高齢者健保改悪・カジノ法案採決・共謀法の成立などますます狂暴・暴走体質を強めつつ、政権の継続を狙っています。

この情勢の中で国民の怒りが高まり、市民と野党の共闘が進み、安倍政権を退陣させ、新しい日本の政治を実現しようという国民・市民の期待が強まっています。参議院選挙や新潟知事選で立証された市民と野党の共闘の力に確信を深めるとともに一層の発展を勝ち取ることが問われています。大阪でも「地下鉄民営化は認めない」「カジノはいらない」「都構想・総合区は認めない」の声を大きくし維新政治を退陣させることが問われています。

損害保険大手3グループも新たな事業展開や先行投資によって利益の確保・拡大を進めようとしています。これらの政策は一層、損保産業と働く者へのしわ寄せとなっています。電通の過労死事件から残業問題があらためて社会問題になっていますが、損保では、違法な労働時間制度が広がり長時間労働とサービス残業の隠れ蓑となっています。

「企画業務型裁量労働制」が東京海上日動、損保ジャパン日本興亜、三井住友海上、あいおいニッセイ同和の4社に、「事業場外労働制」が損保ジャパン日本興亜、三井住友海上に導入され、一定額の「みなし労働時間手当」を支払うことによって残業料支払い義務を免れています。しかしこれらの制度は大半が労働基準法違反です。

私たちは先の第19回総会で、あらためて「人間の尊厳を守る」たたかいを取組むことを確認しました。今年10月第20回総会、来年10月には結成20周年記念総会を迎え、さらに次の10年の活動に入ります。今年はこれから2・3年を展望して、日本の新しい政治の実現をめざし、多くの仲間と連帯して、多彩に有意義な活動を重ねるスタートの年として互いに奮闘しようではありませんか。

2017年2月 大阪損保革新懇世話人会

日本に原発は要らない
福島の酪農家・長谷川健一さんのお話し
3月10日(金) PM6:30~

福島、6年目の真実(いま)

福島は復興したのか
フレコンパックが山積みの故郷へ帰れるのか
アイクルの隣部屋308号にて
懇親会はアイクルの部屋にて

ムービーNight
天空の蜂

3月15日(水)
上映PM6:20~
アイクルの隣部屋308号
PM8:40~懇親会
アイクルの部屋にて
主催:アイクル

(P1よりのつづき)

全体の狙いとしては、美と健康を求める世界の富裕層プラス新中間層、こういうところにターゲットを設定してるわけです。なんで富裕層なのかというと、カジノがらみだからです。

なぜ大阪が注目されるのか。カジノの運営業者、今メルコという会社とメトロという会社の二つが競争する恰好になってるんですけど、なぜ彼らが躍起になるかというと、都道府県と市の両方が賛成しているのは大阪だけなんですね。松井知事と吉村市長という首長が両方とも賛成している。やるぞと言えば一気に進めていくことができる。これはものすごい魅力なんですね。

それでは、彼らが言うように6兆円の経済効果があるのか。維新の会は橋下、松井氏を先頭に公共事業でやってくれるんだから、金は全部業者に負担させると言うんですね。何言うてんねん！という話です。あれは都市の整備事業だから3分の2以上の補助金が国土交通省から出るんです。

民間がやろうとどこがやろうと大阪市がやろうと国からの補助金は必ず出てくるんです。国からの補助金と言いますが、取りも直さず税金もしくは国債、借金なんですね。6兆円の現ナマが生まれるわけではないし、GDPが6兆円増えるわけでも全然ないんです。

IR（統合リゾート）という複合施設だから良いではないかという話があります。溝畠さんという大阪の観光局長も「皆さん方が持ってるカジノというイメージとIRは全然ちやうんですよ」と言います。施設の隅っこにカジノがあるというわけです。

つまり面積でいえば3%だと、目立つようなところとちゃうというわけです。ところが儲けの7割以上がカジノからの収益なんですね。IRという施設の可能性を考えてみましょう。梅田の商業施設色々だしました。

百貨店の売上面積で言えば梅田は現状26万m²あります。阪神の建て替えが住むと、プラス6万で32万になります。中央郵便局の跡に

またドーンとした商業施設ができますので、またそれがプラスαされるんですね。現状26万m²ですけども、東京の新宿はわずか21万。購買力が決定的に違うにもかかわらず、それを上回ってるですから、明らかに商業施設は飽和状態です。

マスコミもなかなかこれ書かないんですね。三越伊勢丹がなぜ撤退したのかとかね。それから阿倍野ハルカス建てる時に、近鉄の社長が夜間人口は梅田、難波に匹敵すると言うたんです。ちょっと待ってくれという話ですね。

最後に、カジノは刑法というレベルだけじゃなくて、憲法にそぐわないんだということをもっとしっかりと訴えていく必要があると思います。公共の福祉に反する、だから国としてはやることはできないんだと。刑法で禁じられているからアウトだという話にとどめるんじゃなくて、やっぱり国家としてやっちゃならんという議論に展開していかなくてはならない。

運動の中でそういう声を広げていかなければならぬというふうに僕は感じています。1兆円という金額を回収しようと思ったら、1時間に5億円以上負ける客を作らないといけない。それはおよそ非人間的な、少なくとも日本人である我々には馴染まないんだということを、きちんと押さえていくことが大事だと思います。

「金ほしさに入々の不幸を生み出していいのか」と問い合わせ、まっとうな経済政策を求

小畠裁判不当判決！あらたなたたかいへ！
2月22日大阪地裁で小畠さんの裁判の判決が言い渡されました。

内容は小畠さんの主張を全く認めない内容です。この不当な判決をはね返す新たなたたかいに取り組みます。

